



(財)運輸政策研究機構 国際問題研究所
設立20周年記念セミナー

日本版LCCの将来ビジョン

2011年10月11日

Peach Aviation株式会社
井上 慎一

I. Peach Aviation事業概要

- 出資者/出資比率/出資総額
- スケジュール(概略)
- 会社の特徴
- 使用機材/就航路線
- 関西空港発着のメリット

II. Peach Aviationブランドコンセプト

- ブランド名の由来
- Peachに込められた思い

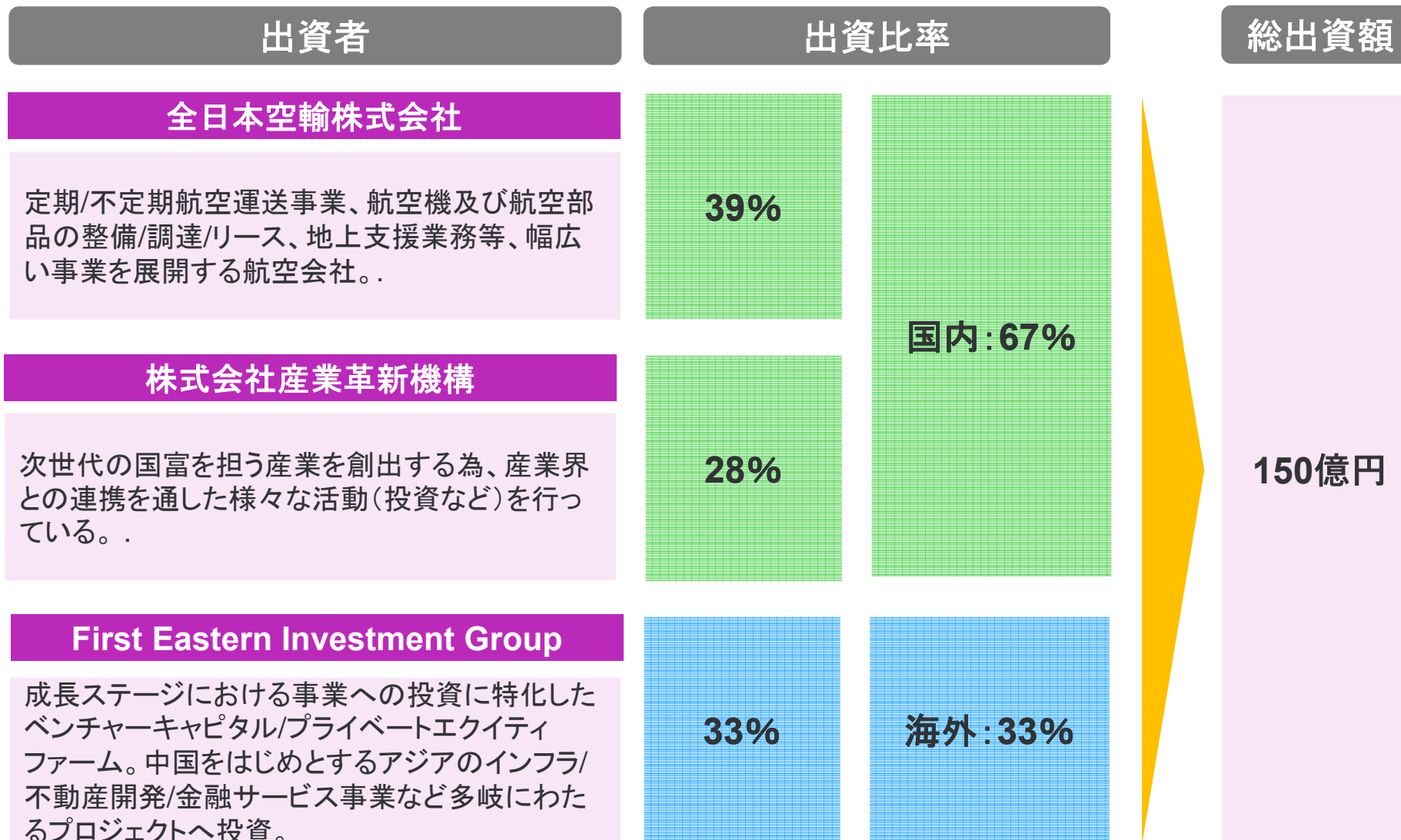
III. Peach Aviationの目指す姿(将来ビジョン)

- 経営ビジョン
- 安全なフライト
- 低価格航空運賃
- ジャパンクオリティ
- お客様のPeachに対する期待



I. Peach Aviation事業概要

✈ 出資者/出資比率/出資総額



✈ スケジュール(概略)

年月	内容
2008年1月	ANA内にアジア戦略室設立
2010年12月	ANA内にLCC共同事業準備室設立
2011年2月	A&F Aviation株式会社設立
2011年3月31日	株式会社産業革新機構の事業参加
2011年4月13日	航空運送事業許可申請
2011年5月24日	新ブランド「Peach」発表、社名および本店所在地変更
2011年7月7日	航空運送事業許可受領
2011年8月下旬	国内線運航許可申請
2011年10月	出資者(ANA/First Eastern Investment Group/株)産業革新機構による増資 JATA旅博にて客室乗務員ユニフォーム発表
2011年11月	初号機受領 航空運賃発表
2012年1月～2月	安全性実証試験/施設検査
2012年3月1日	大阪(関西)ー福岡線、大阪(関西)ー札幌(千歳)線就航開始
2012年5月1日	大阪(関西)ーソウル(仁川)線就航

1. 日本初の本格的LCC

- LCCビジネスモデルをプラットフォームにした新しい航空ビジネスモデル。
- 先進テクノロジーの積極導入による「安全」且つ「低コストオペレーション」の具現化。

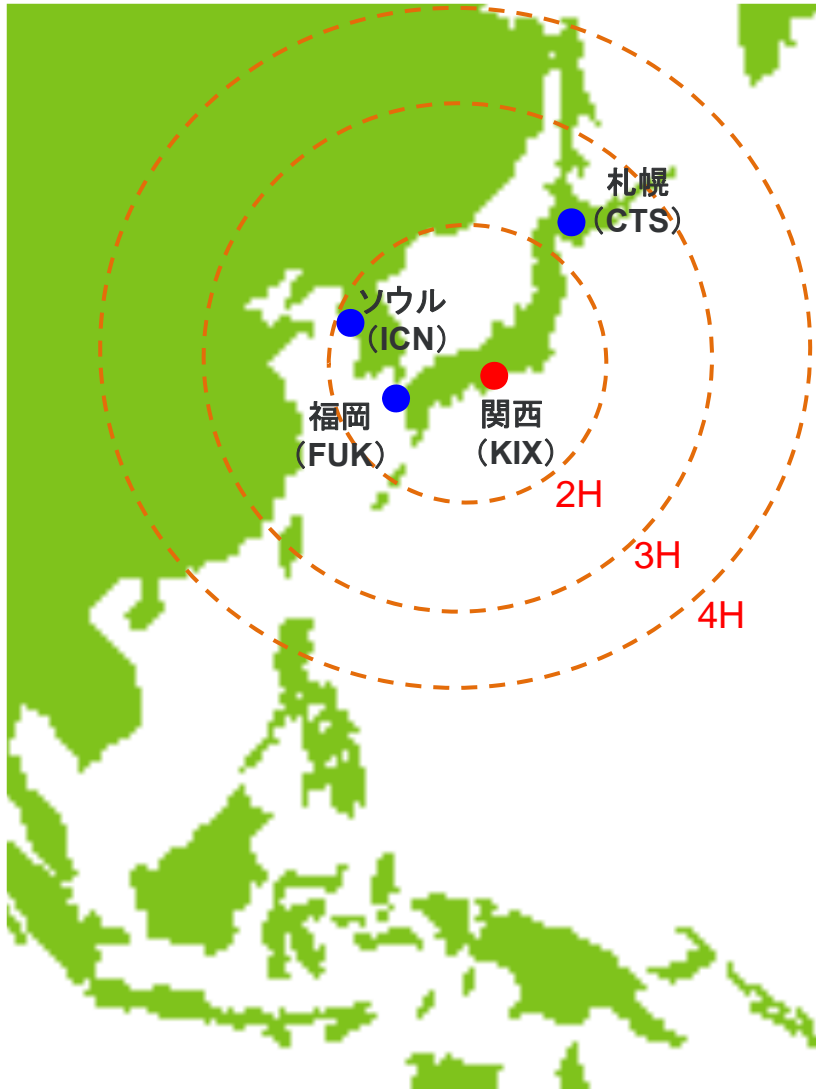
2. 日本初の関西をベースとしたリージョナルエアライン

- 国内外から関西へ多くの人を呼び込み、経済活性化に貢献。

3. 独自の経営モデル

- 多様な業界/国籍からの人材採用による航空業界の規定概念に捉われないイノベティブな企業文化の形成。
- フルサービスキャリアであるANAから独立した経営の維持。

✈ 使用機材/就航路線



使用機材

機種	座席数	保有機数
A320-200	180席	10機

※2012年3月就航時は3機体制。

国内線

路線	就航開始	就航便数
関空 - 福岡	2012年3月1日	4便/日
関空 - 札幌(千歳)	2012年3月1日	3便/日

国際線

路線	就航開始	就航便数
関空 - ソウル(仁川)	2012年5月1日	7便/週

国内/国際線の更なる路線展開は現在検討中

1. 地理的優位性

- 東京に比べてアジア各都市に1時間近く、就航都市の選択肢が広がる。

2. 市場規模優位性

- 関西圏は関東圏に次ぐ人口(2,000万人)を有する巨大な市場である。

3. 空港施設優位性

- LCC専用ターミナル利用によるコスト圧縮が可能。
- 24時間空港且つスロット制約が少ない為、ダイヤ設定の自由度が高い。
- 国内/国際一体空港である為、関西空港を起点とした内際/際内一貫の旅客運送が可能である。

4. 観光資源優位性

- 大阪、京都、奈良、兵庫、和歌山、三重といった国内外の観光客に人気がある観光スポットが集中している。



II. Peach Aviationブランドコンセプト

✈️ ブランド名の由来

peach



✈ Peachに込められた思い



- **P**an-Asia 日本とアジアをつなぐ
- **E**nergetic 元気に溢れた
- **A**ffordable お手頃価格で
- **C**ute & Cool かわいい&かっこいい
- **H**appy ハッピー

桃のように日本とアジアで愛されるエアラインとなり、お客様にアジアを巡る楽しくて新鮮な体験をお届けする。



III. Peach Aviationの目指す姿(将来ビジョン)

- アジアには多くのレガシーキャリア/LCCが存在しており、価格だけでは競争できない。
- 航空会社としての約束である「安全なフライト」、LCCとしてのお約束である「低価格航空運賃」を基盤に、「Japanクオリティー」で他社との差別化を図っていく。

Our Value 1 安全なフライト

- ・安全にこだわる組織風土を醸成
- ・安全を担保できる仕組みを構築

Our Value 2 低価格航空運賃

- ・付帯サービスの別料金化
- ・販売チャネルのシンプル化
- ・シンプルな折り返し運航
- ・業務のマニュアル化
- ・高い機材効率

Our Vision

「Japanブランド
LCCとして、日本と
アジアの架け橋に」

Our Value 3 Japanクオリティー

- ・マーケットのニーズを捉え、日本ブランドとしての「質」の高さを提供

1. 安全推進体制の構築

➤ 2011年7月7日 航空運送事業許可(AOC)取得後直ちに安全推進体制を構築。

安全推進委員会

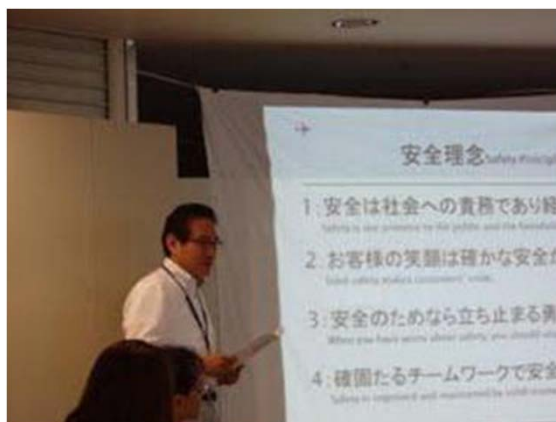
第1回:7月11日 「安全教育（安全管理規程について）」 《全員参加》

第2回:8月22日 「安全管理体制、安全理念の設定について」

第3回:9月12日 「安全管理規程の設定について」

航空保安教育

第1回:8月22日 「航空保安教育(航空保安基礎知識)」 《全員参加》



2. 新造機の導入

- A320ファミリーは全世界で6,000機の受注があり、優れた快適性/経済性/信頼性からレガシーキャリア/LCC問わず世界約200社に約3,400機が引き渡されているベストセラー旅客機である。
- A320新造機をリース導入して一定期間で更新することにより、機齢を若く維持する。

3. ANAによる安全運航に対する業務支援

- 完全に独立した経営を維持しつつも、公共交通機関の最大の使命である「安全」に関しては、ANAが数十年に渡って蓄積した技術/ノウハウを有償で提供頂く。

✈ Our Value 2: 低価格航空運賃

➤ 安全関連以外のコスト削減と各種収入向上施策による低運賃の実現。

新たな仕組みの導入

新たな仕組みによる圧倒的低コスト構造構築により、

- ・新規潜在需要の開拓
- ・他交通モード(鉄道/バス)との競争を可能にし、利用者に新たな選択肢提供

提供役務の分解 & 有償オプション化

Ancillary収入
※必要/希望に応じた有償提供

+

容赦なきSimplicityの追及

Safety以外の聖域なし
※高密度機材の高稼働/従業員高生産性等

例えば、「Cool Japan」 というキーワード

- 日本の最先端のカルチャー、ファッション、デザイン、ブランド
- 外国の方々からも高い評価を得た、グローバルに通用するコンセプト
- 日本がもつ「質」の高さへのこだわり



例えばこのような「Cool Japan」の要素を持ちながら、Peachだけが提供できるコンセプトを開発

Peachの考えるジャパンクオリティとは

- 最先端の日本の美的センス「Cute & Cool」
→機体デザイン／CA制服
- 日系エアラインとしての信頼感
- 元気あふれる、日本らしい品のあるサービス
- 高いクレンリネス
- 日本のカルチャー／ユーモア
→関西弁での機内アナウンスを検討

✈ Our Value 3: ジャパンクオリティー



日本らしさである「Cute & Cool」を表現



1号機の受領を11月上旬に予定

✈ Our Value 3: ジャパンクオリティー



✈ Our Value 3: ジャパンクオリティ



9/30に行われたJATA 旅博で初公開
メディア／一般参加のお客様からも非常に高い評価を頂きました。

✈ Our Value 3: ジャパンクオリティー



✈️ お客様のPeachに対する期待



➤ 「今後利用してみたいLCCランキング」で **1位** を獲得。

※フォートラベル株式会社が運営する「旅行のロコミサイト フォートラベルにて実施されたアンケート

	航空会社名
1位	ピーチ・アビエーション [就航予定]
2位	ジェットスター航空
3位	エアアジアX
4位	ジェットスター・ジャパン [就航予定]
5位	ジェットスター・アジア航空
	エアアジア・ジャパン [就航予定]

※出典:フォートラベル株式会社 9月26日付プレスリリース
<http://4travel.jp/>

<選択項目(50音順)>

イースター航空、エア・プサン、エアアジアX、ジェットスター・アジア航空、ジェットスター航空、春秋航空、ジン・エアー、セブ・パシフィック航空、チェジュ航空、エアアジア・ジャパン [就航予定]、ジェットスター・ジャパン [就航予定]、ピーチ・アビエーション [就航予定]

<ランキング方法>

複数選択で「今後利用してみたいLCC」を回答。利用したい比率が高い順よりランキングを行った。

アジアのニーズをとらえ、日系航空会社に寄せられる信頼感/親近感/期待感に応えるサービスを展開していく。



ご清聴ありがとうございました。